

🔍お祭で使われた「太鼓」と「みこし」を見てみよう!

くらやみ祭のクライマックスは、5月5日午後6時から始まるみこし渡御です。これは、8基のみこしが6張の太鼓に導かれ、神社から旧甲州街道と府中街道の交差点にあるお旅所まで行く行事です。

博物館に展示している太鼓は、1984(昭和59)年まで使われていた御先払太鼓です。小金井と調布の講中によって管理されていました。

そのとりにあるみこしは、御本社みこしで、大國魂神社の神様のためのみこしとして1972(昭和47)年まで使われていたものです。主に番場、西馬場、屋敷分の町内によって管理されていました。

答えてみよう
Q4

5月5日夜の御先払太鼓には、
どんな役割があるのでしょうか?

次のア～オのうち正しいと思うものをすべて選びましょう。

ア 神社に残って留守番をする。

イ みこしが通ることをみんなに知らせる。

ウ 遠くの神様を迎えに行く。

エ みこしの先を行き、邪気を払う。

オ みこしをかつぐ人が気晴らしにたたけるようにする。

こたえ



答えてみよう
Q5

8基のみこしは、それぞれ決められた字が書かれた
帽子(えぼし)をかぶらないとかつぐことができません。
一之宮みこしなら「一」、五之宮みこしなら「五」と書かれています。
では、御本社みこしをかつぐ人は、
どの字が書かれた帽子をかぶるのでしょうか?
次のア～オの中から選びましょう。

ア 御 イ 本 ウ 社 エ 大 オ 國

ヒント お祭の映像を見てみよう。

こたえ



答えてみよう
Q6

くらやみ祭のことが少し理解できたかな? では、あなたがくらやみ祭で一番大切だと思っ
たものは次のア～オのうちどれですか?

ア 万灯 イ 山車(お囃子) ウ 太鼓 エ みこし オ 見物人

どうしてそう思いましたか?

あなたの考えを書きましょう。

こたえ



むさしふちゅう
武蔵府中

くらやみ祭

KURAYAMI MATSURI

ワークシート

東京都府中市で行われている「くらやみ祭」には、毎年約80万人もの見物客が集まります。このお祭ではどんなことが行われるのでしょうか? そして、どのような人たちによってささえられているのでしょうか? 展示を見たり、解説員から話を聞いたりしながら、このワークシートの問題にチャレンジしよう。

くらやみ祭の中心・大國魂神社

府中には、今からおよそ1300年前の奈良時代から武蔵国の役所(国府)が置かれていました。この国府と関わり深い神社が大國魂神社で、くらやみ祭も国府の祭に起源があると言われています。そして、大國魂神社は、武蔵国の一之宮から六之宮の神様をおわせてまつているので、かつては「六所宮」「六所明神」と呼ばれていました。武蔵府中郷土かるたにも、「六所明神武蔵の総社」と紹介されています。



答えてみよう
Q1

このお祭の名前はなぜ「くらやみ祭」と呼ばれるのでしょうか。

次のア～エのうちから選びましょう。

ア 「くらやみの神様」のお祭だから。

イ 大國魂神社の暗くした部屋で行うお祭だから。

ウ 夜間に明かりを消して行っていたお祭だから。

エ 神社の「くらやみの森」で行うお祭だから。

こたえ

くらやみ祭ってどんなことをするお祭?

このお祭は、少なくとも600年以上前から続いています。毎年、4月30日の品川の「潮盛り」でスタートし、5月6日まで7日間続きます。お祭に欠かせない儀式(神事)は神社が中心に、期間中の行事はそれに加えて地域の人々が力を合わせて行い、さまざまな形で盛り上げています。

答えてみよう
Q2

それぞれの行事は、どんなことをするのかな?

①～⑤に下の「ア～オ」を入れてスケジュールを完成させよう。

日付	時間	名前	すること	行う人
4月30日	午後1時	潮盛り	品川の海(東京湾)に行き、体を清め、神社で使う潮水をくむ。	神社の人、町内の代表、府中と品川の潮盛講中
5月 1日	午前9時	祈晴祭	[①]	神社の人
5月 2日	午後7時半	御鏡磨式	みこしにつける鏡を潮水でみがいて清める。	神社の人、担当する家の人
5月 3日	午後6時	囃子の競演	[②]	府中囃子保存会
	午後8時	競馬式	馬6頭が旧甲州街道を走る。	神社の人、町内、競馬場の人
5月 4日	午後0時半	万灯大会	[③]	市内の各青年会
	午後6時	山車行列	[④]	市内の各町内会、府中囃子保存会
5月 5日	午前10時	例大祭	くらやみ祭の中で中心となる儀式。	神社の人、大祭実行委員
	午後6時	みこし渡御	[⑤]	神社の人、町内、太鼓講中、みこし講中
5月 6日	午前4時	みこし還御	みこしがお旅所を出発し、午前7時に神社に帰る。	町内、みこし講中
	午前9時	鎮座祭	みこしから神様を神社にもどし、祭の終わりを報告する。	神社の人、町内の代表

- ア けやき並木に約10台の山車(お囃子を演奏する人が乗る車)が集まり、お囃子を演奏する。
- イ 大太鼓に先導され、神様の魂を移した8基のみこしが順番に出発する。決められた道路をねり歩き、午後9時ごろにお旅所に着く。
- ウ 市内各所の青年会が作った万灯をふりまわして、できばえや力強さをきそいあう。
- エ お祭の間の安全と、雨がふらないことをいのる。
- オ 20台以上の山車が、旧甲州街道でお囃子を演奏する。



くらやみ祭(2017(平成29年)年5月3～5日)の会場

くらやみ祭をささえているのはどんな人たち?

このお祭はどんな人たちが、どのようにささえているのでしょうか?

運営は、神社の人たちだけではなく、「町内」と呼ばれる地域の人も担当しています。でも、これだけ大きなお祭を、神社の人たちや、地域に住む人たちだけで行うことは大変です。そのため、府中市内でも神社から離れた地域や市外各地に「講中」というサポーター組織がつくられ、一緒に参加しています。そのほかにも、山車を引く人、お囃子を演奏する人、交通整理をする人など、多くの人たちがかかわっています。

答えてみよう
Q3

下では、それぞれの立場の人が話をしているのでしょうか?

①～⑥に次のア～カの中から一番ふさわしいものをあてはめましょう。

ア 町内 イ 囃子保存会 ウ 青年会 エ 長老 オ 観光協会 カ 講中



① [] の話

1960年ごろまで、5月5日は真夜中にみこしが出て、街灯のほか、沿道の家の明かりも消していました。今ではもっと早く始めて、明かりを消さずに行われています。



② [] の人の話

私たちは大國魂神社の近くに昔から住んでいて、たくさんの行事にかかわっています。期間中には、お祭をささえる人たちが集まる会所をつくります。そこは、人々が休んだり交流したりする場になっています。



③ [] の人の話

くらやみ祭だけでなく、いろいろなイベントなどでも演奏します。府中には25支部、1500人のメンバーがいて、支部ごとに特徴があります。山車行列では、府中市全域からいろいろな形の山車が集まるので面白いです。



④ [] の人の話

お祭のときは、たくさんの人に来て、いろんな問い合わせがあるので、答えるのが大変です。ポスターやチラシを準備して、多くの人に知ってもらえるようがんばっています。



⑤ [] の人の話

みこしの前に行く太鼓は、台車にのせないと動かせないほど大きなものです。町内だけでなく市外に住む私たちが協力して運営しています。遠くは、杉並区や神奈川県横浜市から来る人もいます。



⑥ [] の人の話

青年みんなで力を合わせて、お祭を盛り上げます。私たちが色々な場所に会所をつくります。万灯大会でうまくいかなかったときは悔しかったですね。自分たちよりも若い人たちの参加を増やして、この伝統を絶やさないことも役目だと思っています。



山車



万灯大会の様子

もともとは火をともし行灯のことですが、府中では、花紙でかざられた笠のようなものを万灯と呼んでいます。